

第3次千葉県青少年総合プラン 令和4年度事業評価シート

事業NO	126
------	-----

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活課 子ども・若者育成支援室	問合せ先(電話番号)	2330

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物品の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。									
当初予算額(千円)	H30年度	778	R元年度	768	R2年度	3,096	R3年度	970	R4年度	970
決算額(千円)		436		344		1,172		399		239
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果(4年度)

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店78件、書店等230件、インターネットカフェ・まんが喫茶14件、カラオケボックス58件、その他13件、計393件(うち225件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。

・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。

(2)事業の成果(4年度)

・立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等(4年度)

・青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導により、フィルタリングの利用促進を図る必要がある。

4 関連指標

関連指標	[有害環境の浄化] 千葉県青少年健全育成条例に基づく、立入調査の実施件数					目標	480件以上 継続
	基準年(H28)	H30	R1	R2	R3	R4	
	481件	529件	440件	439件	385件	393件	

5 委員意見

--

第3次千葉県青少年総合プラン 令和4年度事業評価シート

		事業NO	128
事業名	地域の防犯ボランティア活動促進事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	地域の防犯力向上に大きな役割を担っている自主防犯団体の活動を継続、発展させていただくため、防犯ボランティア団体の活動を支援する。									
当初予算額(千円)	H30年度	1,469	R元年度	1469	R2年度	1,469	R3年度	978	R4年度	1,230
決算額(千円)		560		508		70		679		621
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果(4年度)

・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止していた「地域防犯力の向上に関する交流大会」を2年ぶりに開催し、基調講演やパネルディスカッションを実施した。
 ・防犯パトロールの一助として「ちば防犯ハンドブック」を作成し、市町村やヤング防犯ボランティア団体等に配布した。
 ・ヤング防犯ボランティア団体に対し、パトロール資機材を貸与した(1団体・高校生)。

(2)事業の成果(4年度)

・交流大会において、子どもの見守りについて、力を入れている講師を選定したところ、参加者から、今後の活動に大変参考になる内容だったとの声が寄せられた。
 ・令和4年度も「ちば防犯ハンドブック」を作成、配布したところ、好評であり、追加で配布してほしいとの要望が多く寄せられた(ホームページに掲載していることを案内している)。
 ・ヤング防犯ボランティア団体からパトロール資機材の貸与申請があり、次世代を担う若者の育成に寄与した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等(4年度)

・令和4年の県内の自主防犯団体の団体数は、令和3年と比較し減少となっており、新型コロナウイルス感染症の対策が必要な期間が長引き、活動を縮小、停止、ついには、廃止に至った団体もあったのではないかと推測される。
 ・このことから、自主防犯団体が効率的に、そして、効果的に活動できるよう、「地域防犯力の向上に関する交流大会」を開催するとともに、「ちば防犯ハンドブック」も継続して、作成、配布する。
 ・また、若い世代の防犯ボランティア活動への参加を促進し、自主防犯団体の構成員の確保につなげるため、ヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材の貸与を実施する。

4 関連指標

関連指標						目標	
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	

5 委員意見

第3次千葉県青少年総合プラン 令和4年度事業評価シート

事業NO	134
------	-----

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警)生活安全総務課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	県警ホームページに掲載の「不審者情報マップ」を通じて不審者情報を提供している。									
当初予算額(千円)	H30年度	—	R元年度	—	R2年度	—	R3年度	—	R4年度	—
決算額(千円)	H30年度	—	R元年度	—	R2年度	—	R3年度	—	R4年度	—
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果(4年度)

県警で認知した不審者情報の発生地区・概要等(行為者の検挙・警告状況を含む。)を県警ホームページ上で情報発信するとともに、メール投稿機能を活用した不審者情報の収集を実施した。

(2) 事業の成果(4年度)

- ・不審者情報や声掛け事案等の発生状況を発信することで防犯意識の向上が図られた。
- ・メール投稿機能を活用して収集した住民からの不審者情報をパトロールや防犯対策の警察活動に資することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等(4年度)

- ・今後も、継続的に不審者情報の発信、収集を推進していく。
- ・防犯講話・キャンペーン等を通じ不審者情報マップ・メールの投稿機能の広報を実施して、防犯意識の醸成に努める。

4 関連指標

関連指標							目標	
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4		

5 委員意見